



開会式のあと、グループごとに分かれ、いざそば打ち開始！
今回打つ「そば粉」は、史跡公園で昨秋採れたもの。小麦粉とともに鉢に入れ、ていねいに混ぜて水を加えていきます。簡単そうに見える作業ですが、混ぜ方にも、水の入れ方にもやり方があり「奥が深い……！」と参加者さんはすでに驚きの表情。
水と粉が混ざり、かたまりになつてくると、だんだん室内にそば粉の良い香りがしてきました。生地がひとつにまとまったら、全体重をかけて力強く練ります。先生から見本を見せられやってみるも「上手く練れない！難しい！」とあちらこちらから聞こえてきました。
台の上に生地を取り出し丸く整えたら、いよいよ麺棒の出番です！コロコロと簡単に転がしているように見えますが、本当にコツを掴むのが難しい作業。先生に手伝っていただきながら、なんとか薄く四角く延ばせました。薄くなった生地を折り畳み、細く細く切り揃えていけば……そばの完成です！

例年は、先生が打ったそばを試食しますが、今年はコロナ対策のため中止に。「早く食べたいね」と、自分が打ったそばの味を楽しみに、イベントは終了しました。



2年ぶりの開催♪

そば打ちに挑戦！！

3月6日(日)、そば打ち体験を開催しました。令和2年度はコロナの影響で開催を断念し、さらに1月開催予定が、津波警報やコロナ拡大の影響で何度か延期となったため、2年2ヶ月ぶりのイベントとなりました。当日は開催を楽しみに13組33名が集まりました。講師は「仙台青葉そば打ち教室」の皆さんをお招きしました。



厚さも均等に……30cmくらいに延ばすのは難しいなあ

さらさらの粉がまとまらなくておもしろーい！

丸から四角になった！すごい！！

「疲れる……！！」
「こんなに力がかかるの？！」

大高森薬師堂 が登録文化財に！！

令和4年3月18日に開催された文部科学省文化審議会で、大高森薬師堂が国の登録有形文化財に答申されることになりました。6月頃に正式に登録される予定です。
大高森薬師堂は、「あおみな」から「縄文村歴史資料館」にいたる大高森中腹のオルレコース上にあります。宮城県が明治後半から大正の初めにかけて、松島の保全と公園整備を目的におこなった事業のなかで、大正時代前期に建設されたと伝わっています。
『松島公園経営計画』(大正4年)には、安置する薬師如来像を角田市高蔵寺阿弥陀堂(国重文、平安時代末期)の古材を利用して製作されたことは記されていますが、堂宇については「薬師像は大高森の適当な地を相して堂宇を建設し安置することを決したり」「大高森の北方に薬師堂(医王寺薬師堂)あり今大破す……薬師像を刻し小堂を大高森附近に建て木像を安置せむとす」と記されているだ

けで、堂宇自体の記録はみられません。
薬師堂は、大高森中腹に西面して建ち、宝形造、檼瓦葺。柱は円柱で、組物は舟肘木、軒は一軒疎垂木とし、小堂ながら堅実なつくりとなっています。中世以降に導入される参拝のための向拝や階段はなく、椽瓦の瓦当には多賀城で出土する古代瓦と同じ紋(蓮華文)を施すなど、古代の建築様式でつくられた大変興味深い建造物です。古材の時代に合わせただこだわりだったのかもしれない。



GWは縄文村へ！

縄文体験・体感WEEK！

予約不要

4月29日～5月1日
5月3日～5月5日

時間 1:5日… 10:00～15:00
その他… 9:30～15:00
入館料+各種体験料
(1・5日は入館&体験無料DAY)

GWは「縄文」を楽しもう！日替わり縄文体験のほか、里浜貝塚ガイドツアーなどを実施します。1日、5日はどなたも「入館&体験無料」です！！

かいむらさき 貝紫染め体験

参加者募集中

5月29日(日) ひとり800円
10:00～14:00(予定)

昔から高貴な色として珍重されてきた「貝紫色」。宮戸の海に生息する「巻貝(アカニシ)」から染料をとり、古代の染物に挑戦します。

イベントの詳細はこちら！

HP フェイスブック インスタ

お問い合わせ・お申し込み
TEL: 0225-88-3927
FAX: 0225-88-3928
お申し込み用QR

4月1日(金)～28日(木)の期間、復旧工事のため臨時休館中しています。